

大阪府立大学 フェローシップ事業に関するQ&A

【マテリアルイノベーションを通じた国際的博士人材育成】 【スマート社会を牽引する共創型X-Care課題解決アーキテクト養成社会】

項目	No.	質問	回答	回答日
事業全般	Q-0001	支援期間はどのくらいか	原則3年間です (なお、休学される場合や、宣誓書に記載の項目に該当した場合等、支給対象者として適当でない事由が生じたときは、この限りではありません)	2021/4/26
事業全般	Q-0002	日本学生支援機構の奨学金との併用は可能か	日本学生支援機構(JASSO)の貸与型奨学金については、フェローシップと併せての支給が可能です	2021/4/26
事業全般	Q-0003	地方自治体・民間団体実施の奨学金との併給は可能か	個別の奨学金については、当制度の概要を各奨学金の担当部署へお問い合わせください。併給不可の場合はどちらかをご選択ください。	2021/4/26
事業全般	Q-0004	アルバイト可能か	研究活動に支障がない範囲のTA・アルバイトは可能です。	2021/4/26
事業全般	Q-0005	RAはしても問題ないか	研究活動に支障がない範囲のRAは可能です。	2021/4/26
事業全般	Q-0006	特別研究奨励金との併給は可能か	併給は可能です。	2021/4/26
事業全般	Q-0007	キャリアパス支援奨励金を受ける予定だがフェローシップと併用可能か	キャリアパスとの重複支給は不可です。(理由:国からの補助金のためダブル支給ができないため)	2021/4/26
事業全般	Q-0008	フェローシップ対象学生が休学した場合はどうなるのか	原則、休学した場合のフェローシップは支給できません。ただし、休学期間中でも研究の継続が可能と大学が判断した場合は、この限りではありません。	2021/4/26
事業全般	Q-0009	府大の授業料減免審査の際、研究専念支援金(雑所得)が所得として認められますか	減免制度上は他プログラムも本人所得扱いで処理しておりますので、フェローシップの方も同様に減免の審査上、本人所得として処理・審査いたします。	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0010	振込はいつから開始か	初回のみ、2ヶ月分(4・5月分)をまとめて5月振り込みの予定としております。	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0011	振り込みは一括or分割どちらでの支払いになるか	毎月の分割払いです。	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0012	振込の口座設定はどうしたらいいのか	合格確定後、支援室より手続き案内をいたします。年度の途中で変更がある場合もフェローシップ支援室までご連絡ください。	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0013	フェローシップによる収入は所得税、住民税の対象となるか	フェローシップのうち研究専念支援金は雑所得と扱われるので、所得税・住民税の課税対象となります。各自で確定申告が必要です。 (支払い前日までに財務課よりメールで「支払通知書」が送付されるので破棄せず保管ください。紛失された場合フェローシップ支援室で発行は出来ません)	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0014	支援金は給与という形でしょうか	給与ではありません。税法上は雑所得となります。親等の扶養親族として社会保険に加入している場合は、社会保険から外れる場合があり、該当者はご自身で社会保険への加入手続きを行ってください。 (支給初年度については15万円×9か月分の支給のため、扶養親族から外れるかどうかについては事業元担当者様へご確認ください)	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0015	フェローシップ支給対象学生の社会保険・年金の扱いはどうなるか	フェローシップ支給対象学生と大学院に雇用関係はないので加入は求めません。必要があれば学生各自で加入手続きを取ってください。	2021/4/26
フェローシップに関すること	Q-0016	フェローシップ支給期間後には何か制約がありますか	制約はありませんが、当制度は文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の補助の下に実施するため、終了時から10年程度、就職等の現況調査等を行う可能性がありますのでご承知おきください。 フェローシップ期間終了後も連絡することがあるため連絡先の住所・就職先・Eメールアドレス等が変更になった場合はフェローシップ支援室まで必ず連絡願います。	2021/4/26
研究費に関すること	Q-0017	研究費(50万円)の使い方はどのようになっているのか	別紙「研究費運用マニュアル」をご参照ください。	2021/4/26
研究費に関すること	Q-0018	年度に執行できなかった研究費の管理はどうするのか	研究費は各年度(4月～3月)の使い切りとなります。翌年度への繰越しや前借りはできません。 詳細は、別紙「研究費運用マニュアル」をご参照ください。	2021/4/26
研究費に関すること	Q-0019	支給された研究費50万円を、学会の入会費・年会費に充てることは可能か	会費の適用期間により、研究費から支出ができない場合があります。 支払いを希望する場合は、内容がわかるものをご準備頂き、事前にご相談ください。 なお、研究支援金(年額1,800,000円)から支出を行うことは問題ありません。	2021/4/26
研究費に関すること	Q-0020	研究費の管理等を、所属研究室の事務員へ紐づけすることは可能か	研究費から支出する業者への支払い手続きは、フェローシップ支援室にて行います。そのため、所属研究室で支払いのためのシステム入力をして頂く必要はありません。	2021/4/26
支援内容	Q-0021	長期インターンシップとはどのように決めていくのか	「フェローシップ生の手引」を参照ください。	2021/4/26
支援内容	Q-0022	企業へのインターン参加時期に指定はありますか	特に指定はありません。研究活動と照らし合わせて、可能な時期を設定ください。 (ただし、インターンシップ先の都合と合わせ、希望通りの日程で実施できない場合もあります)	2021/4/26
支援内容	Q-0023	受講申請はどのようにすればいいのか	オリエンテーション後に随時履修届を受け付けます。web申請とは別に個別受付を行います。	2021/4/26
支援内容	Q-0024	どの授業を履修すればいいのか	「フェローシップ生の手引」を参照ください。	2021/4/26
支援内容	Q-0025	大学院共通教育科目は何単位取得すればいいのか	「フェローシップ生の手引」を参照ください。	2021/4/26

項目	No.	質問	回答	回答日
支援内容	Q-0026	システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラムは併用可能か	併修可能です。ただし、システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラムは修士からの履修ですのでご注意ください。	2021/4/26
事業全般	Q-0027	原則3年とあるが、長期履修で6年を認められている。4年目以降の支援についてはどうなるのか。	文科省によりD1～D3までの3年間の支給が決められているため、本事業の支給については1人につき最大3年間で終了となります。	2021/4/26
研究費に関すること	Q-0028	学会参加費が、旅費とセットのように記載がありますが、オンライン学会は支出対象ですか。	支出可です。承認額の旅費箇所は、オンライン学会であるため、旅費の発生がない旨記載ください。学会参加費欄には、金額を記載ください。また、〈学会参加の場合〉に必要な書類は揃えてください。	2021/4/30
支援内容	Q-0029	オンライン学会の場合、旅費が発生しませんが、報告書は必要ですか。	旅費が発生しない場合、報告書は不要です。 正式な報告書は不要ですが、オンライン学会終了後、参加したことが確認できるものを必ず支援室まで提出ください。	2021/6/2
支援内容	Q-0030	海外渡航において、JCSOSシステムへの登録はフェローシップ支援室にて申請が可能か。	指導教員を通じて、研究室より申請をお願いいたします。	2021/4/30
研究費に関すること	Q-0031	10万円以内でも換金性高消耗品(PC、カメラなど)がありますが、支出対象になりますか？	研究を進めるため、必要不可欠であると理由付けできるものであれば、支出対象となります。	2021/4/30
支援内容	Q-0032	換金性高消耗品が支出対象の場合は、管理場所の申請が必要ですか？	管理場所の申請が必要です。	2021/4/30
支援内容	Q-0033	換金性高消耗品が支出対象の場合は、卒業後どうなりますか？	卒業後は大学の資産として管理いたします。卒業後も使用されたい場合は、研究専念支援金より支出ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0034	英文校正などは、大学の検収ではデータ検収ですが、フェローシップ事業では出向き検収ですか？大学の検収ルールで良いでしょうか？	大学の検収ルール（データ検収）に従って頂いて結構です。	2021/4/30
研究費に関すること	Q-0035	運用マニュアルに「3月以降の物品購入はできません」とありますが「3月以降」というのは、具体的に3/1以降のことですか？	3/1以降の物品購入は不可としています。物品については、早めの支出にご協力ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0036	講義履修に関してはフェローシップ支援室へ個別メールで履修希望の講義を送れば良いのか	すべての講義についてはフェローシップ支援室にて個別に履修届の対応をいたします。今年度履修希望講義が決まりましたら、フェローシップ支援室へメールにて連絡をお願いいたします。なお、〆切日は5月31日 17:00といたします。 ※講義によってはすでに授業がスタートしている科目もあります。欠席分は個別にフォローする予定です。 ただし、科目によってはそのフォローが難しい場合もございますので、その際は申し訳ございませんが、ご相談の上、次年度履修をお願いする場合もございます。	2021/4/30
支援内容	Q-0037	TEC I についての受講申請も5月31日締め切りでいいの	TEC I については、6月から授業がスタートする関係上、講義申し込み締め切りは5月14日 17:00といたします。	2021/4/30
支援内容	Q-0038	科目の内容がわからない、どの講義を選択してよいかわからない	各担当メンターと相談の上、決定ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0039	高度人材育成センターでのイベントもポイントに入るようだが、どのイベントがどの群（トランスファラブル群とキャリアデザイン群）に該当するのかを教えてください	高度人材育成センター主催のイベント類は、主にトランスファラブルスキル群・キャリアデザイン群が主です。年間行事一覧は提供予定です。その一覧を参照に参加を計画ください。イベントの参加申し込みは、行事ごとに、都度行います。開催前には募集案内をいたします。	2021/4/30
支援内容	Q-0040	研究計画書について、研究内容に関しては、どの程度まで具体的に書かなければいけないのか。	研究計画書は年2回開催する報告会で使用します。この報告会は次年度受給資格を審査する審査会を兼ねています。よって、期首計画に対する進捗と成果が明確になることが最も重要です。進捗や成果が客観的に判断できるような内容で記載をお願いします。（単に研究タイトルと学会発表や論文投稿〆件、などの記載では判断が難しくなります）具体的な書き方で、自分で判断しにくい場合や困ったことがあれば、各担当メンターと相談ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0041	ポートフォリオの使用方法・記入方法はどのようにすれば良いでしょうか。	ポートフォリオは年2回開催の報告会の時に提出いただけます。それ以外は皆さんの活動記録としてお使いください。書く内容はフォーマットの項目に従って記入ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0042	海外副指導員はどのような役割を担うのでしょうか。年に最低何回のディスカッションが必要である、最終的には副指導員の研究室へ出向き共同研究を行う、など、選定条件はあるのでしょうか。	海外副指導員は、現在行っている研究のもう一人の指導教員という位置づけです。単眼的な研究になることなく、グローバルな観点から多角的指導を受ける環境を目指したものです。よって、指導回数に制約は設けませんが、現在の大学での研究指導と同程度とお考え下さい。 選定条件は、上記を満たす先生であれば、それ以上の条件はございません。また、選定にあたっては現在の指導教員、担当メンターと十分にご相談の上、ご決定ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0043	フェローシップ支援室からのメールの宛先を変更することは可能か	はい、可能です。ご希望のメールアドレスをフェローシップ支援室まで「変更希望」とメールにてご連絡ください。	2021/4/30
支援内容	Q-0044	TEC I の「1. 研究者が持つべきマインド」「2. 企業研究に必要な知識」の受講はオンラインの受講のみでも問題ないか。	はい。オンライン受講で問題ありません。	2021/4/30
研究費に関すること	Q-0045	研究費に関して、例えば旅費と宿泊費で財源を分けることは可能でしょうか。	旅費と宿泊費で財源を分けることはできません。 5日間の学会を前半2日（フェローシップ研究費）、後半3日（指導教員の財源）と分割することは可能です。	2021/5/6
研究費に関すること	Q-0046	海外留学に充てようとする、50万円足りない場合が出てくる。その場合はどうすればよいか。	海外留学費について、不足分は自らの研究支援金（1,800,000円）を充当するか、もしくは外部資金を自ら調達するか、指導教員等の研究費を充当するかのいずれかでお考え頂ければと思います。	2021/5/6
支援内容	Q-0047	大阪府立大学には学生でも加入できる健康保険はありますか	大阪府立大学には学生の方が加入いただける健康保険はございません。国民健康保険に加入の場合は、ご自身で住所地の市町村窓口にて加入手続きを行っていただく必要があります。	2021/5/6
研究費に関すること	Q-0048	学会年会費の支出にしていますが、今年、2021年度分と2022年度分の支払いがあります。どちらも支出可ですか。	2021年度の研究費で支出可能なものは、2021年度の年会費のみです。2022年度の年会費については研究専念支援金、もしくは自費でのお支払いをお願いいたします。	2021/5/12
支援内容	Q-0049	海外副指導員への指導依頼は、必修なのでしょうか。（ポイントには加算されないようですが、推奨でしょうか）	基本、推奨です。可能な限り設定をお願いするものとなります。 指導教員、メンター、三者の間で、十分にご相談いただき可能な限り設定に取り組んでいただきたいと思います。	2021/5/14
支援内容	Q-0050	海外副指導員への指導依頼は、FS生が直接メール等で連絡するのでしょうか。	依頼先の先生との関係性が最も重要となります。ファーストコンタクトはその関係性を重視し、最も最適な方が行っていたことをご勧めします。	2021/5/14

項目	No.	質問	回答	回答日
研究費に関すること	Q-0051	学会年会費支出の際の提出書類について教えてください。	振込前に、研究費使用承認書の提出をお願いします。 購入リスト欄へ、発注先は学会名、品目は学会年会費、品番とメーカーはblankで結構です。 承認額と併せて、学会会則の写し(学会設立の目的、会費(金額)、会期を確認します)・窓口払いの場合は(支払い前の)払込票の写しもご提出ください。	2021/5/17
フェローシップに関すること	Q-0052	本事業生であることを外部資金等の申請書に明記する際、どのような記載になるでしょうか	「大阪府立大学 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業フェローシップ生」このように記載ください。	2021/5/19
研究費に関すること	Q-0053	物品購入の際の請求書・納品書の宛名は、どのように記載してもらえばよいでしょうか	「大学名」と、「フェローシップ生個人の氏名」を併記していただく必要があります。	2021/5/24
支援内容	Q-0054	支払い時の振込手数料や請求書発行手数料等は支出できますか。	本事業の資金元である文部科学省の執行ルール制限により、支払い時の振込手数料や請求書発行手数料等は、支出はできません。	2021/5/24
支援内容	Q-0055	インターンシップの「長期」とはどのくらいを指すのか。	2～3か月のインターンシップを想定しております。	2021/5/25
研究費に関すること	Q-0056	研究費を使って10万円以上の物品購入をしたい。	物品の内容をフェローシップ支援室にて精査しますので、承認額を作成する前に、メールにてご相談ください。	2021/6/30
フェローシップに関すること	Q-0057	研究費を使って10万円以上の物品購入をしたい。	換金性の高い物品を購入された場合、後日「管理シール」が発行されます。それを購入物品に貼り付けしていただき、後日貼ったことをメールにて画像を添えて報告ください。また、研究費で購入された換金性の高い物品は、大学管理物品となるため、卒業後の私物化はできません。 (卒業後、私物として使用されたい場合は、研究費での購入ではなく、研究専念支援金、または私費での購入をお願いします) ※Q-0032/Q-0033 と同一	2021/6/30
研究費に関すること	Q-0058	電子書籍は研究費で購入できますか。	研究専念支援金、もしくは私費での購入をお願いします。	2021/7/9
研究費に関すること		研究費で支出できない物品はどのようなものがありますか。	本大学の支出ルールにも関わってきますので、物品購入については個別にフェローシップ支援室までご相談ください。	2021/8/26
研究費に関すること		外国語での論文等研究発表時につながるスキルアップのために、対策用書籍などを購入したい。	自己のスキルアップにかかる費用については、本事業研究費では支出できません。	2021/9/8
研究費に関すること		物品受領について	受領サインは学生自身としていますが、COVID-19による緊急事態宣言発出下等において、入構制限がかかっている場合は、指導教員のサインでも可とします。 検収欄の押印については、制限解除の折、学生押印も必要となりますので、その旨当支援室まで事前にご相談ください。	2021/9/9
研究費に関すること		PCR検査費用、陰性証明書の発行にかかる費用は支出できますか。	研究費による支出が可能です。一定の条件がありますので、事前にフェローシップ支援室までご相談ください。	2021/9/10